

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第2回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

・地域活動支援事業について（ヒアリング）

(2) 報告事項（公開）

・地域自治推進プロジェクト及び令和4年度の地域協議会の取組等について

3 開催日時

令和4年5月30日（月）午後6時30分から午後8時30分まで

4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：猪俣敦子、大滝英夫、千代金治、相馬祐一、田中博三（副会長）、中島 功
藤本孝昭（会長）、古川勝夫、古川 仁（欠席2名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【藤本会長】

- ・会議録の確認者：古川 仁委員

次第 2 議題「(1) 協議事項」の「地域活動支援事業について（ヒアリング）」に入る。

事務局より説明を求める。

【山崎主事】

・進め方を説明

【藤本会長】

今ほどの説明について、質問を求める。

(発言なし)

ではヒアリングに入る。質疑応答以外の進行は事務局に一任する。

【山崎主事】

「津-1」の提案者がまだ来ていないため順番を変更し、「津-2 上野田子供健全育成事業」のヒアリングを始める。

【津-2 提案者】

・事業説明

【藤本会長】

「津-2」について質問を求める。

【大滝委員】

遊具を 5 台ほど更新するとの説明があった。その他、修理等は町内で行うとのことだが、それは予算がオーバーしたため自己負担としたのか、或いは金額的に高額となってしまうための判断なのか、どちらか。

自分の考えとしては、そういった費用も含めて申請してはどうかと思ったため質問した。

【津-2 提案者】

基本的には、高額なものについては地域活動支援事業にお願いし、自力でできるものについては、町内会費からと考えた。金額的には 12 万円ほどになるため、今年 2 月の総会の折に説明をした。

例えば、シーソーの木製部分が剥離して角が欠けているため修理を行う。金額的にも 2 万円から 3 万円であるため、町内会費で賄えばよいと思った。

また支援事業で採択されなくても、修理で対応できる遊具があるので、それについては町内会費で行えば、新しい事業として伝わると考えた。

【古川 仁委員】

2点ほど確認である。

「事業の実施スケジュール」で、雪が降る前に片付けるとあるが、大きな遊具は片付けられないと思う。何を片付けるのか。

【津-2 提案者】

例えばブランコであれば、鎖がついている座る部分を外して、格納場所に保管しようと思っている。シーソーについては、真ん中の三角の部分でバランスを取っているため、そのまま外して格納する。

冬期間は使用できないことや、そのままにしておくとも劣化が進むため、移動・格納できるものについては取り外しを行いたいと思っている。

【古川 仁委員】

次に、「津-2」は「津-8」と事業内容が似ており、同じアカバネの鉄棒の見積もりを取っているが金額が違う。見積額のことであるため、津-2の提案者に聞いても駄目だと思っただけだが、何が違うのか気になった。

【津-2 提案者】

参考程度の回答になってしまうのだが、今回、鉄棒については2台の購入を希望している。業者に確認したところ、鉄棒だけは運搬費がかかると言われた。

【古川 仁委員】

運賃や設置費ではなく、単価のことである。

【津-2 提案者】

見積もりについては、自分の感覚で金額のやり取りをしていた。

多分、大きさによっても金額は異なると思う。当町内が購入を希望している鉄棒は3段階の高さが違うものである。また、メーカーでも多少違うのだと思う。「津-8」がどこに見積もりを依頼したのか分からないが、当町内では小学生が使用するものであるため、一定の基準で見積もりを依頼した。

【藤本会長】

今の質問については、2事業の見積書をよく精査して、金額が違っているとの指摘だと思う。それについては改めて事務局で確認をし、何かあれば提案者に連絡することもあるかもしれないことを了承願う。

以上で「津-2」のヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【山崎主事】

「津-3 2022 津有北部地区スポーツクラブ地域活性化事業」のヒアリングを始める。

【津-3 提案者】

・事業説明

【藤本会長】

「津-3」について質疑を求める。

(発言なし)

自分から質問する。

購入を希望している「オーバルボール」というものは、具体的には貸出事業のみで使用するのか、或いは冬季運動会等でも活用するのか、教えてほしい。

【津-3 提案者】

公民館事業を通して、各町内等への貸し出しも行っている。

去年はニュースポーツで津有地区南部も含めて 10 町内ほどへ貸し出しを行っている。

また最近はできていないが、以前に 2 回ほど、各町内に回覧をして、津有地区公民館の 2 階でニュースポーツのお披露目も行った。

【藤本会長】

今回、購入を希望している「オーバルボール」は貸し出し事業として使用するのみで、団体の冬季運動会等での使用は考えていないということか。

【津-3 提案者】

冬季運動会は競技の内容が決まっているため、それとは別で行いたいと思っている。もちろん貸し出しも行う。

【藤本会長】

オーバルボールは、あまり知られていないスポーツだと思う。事業の中で、このオーバルボールがどのようなスポーツなのか、説明する機会は予定していないのか。

【津-3 提案者】

オーバルボールを購入した段階で、役員も含めて、皆に紹介する場を検討したいと考えている。

【藤本会長】

実施スケジュールには記載されていないが、実際には紹介する場面を設けるということか。

【津-3 提案者】

そうである。

【藤本会長】

他に質問等あるか。

(発言なし)

以上で「津-3」のヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【山崎主事】

「津-4 2022 戸野目スポーツ少年団 安全安心をサポートする青少年健全育成事業」のヒアリングを始める。

【津-4 提案者】

・事業説明

【藤本会長】

「津-4」について質疑を求める。

【千代委員】

昨年度と代表が変わっているようだが、変更したのか。それとも競技によって違ってくるのか。

【津-4 提案者】

昨年度は野球チームで申請した。

【千代委員】

野球チームは野球チームの代表がいるということか。

【津-4 提案者】

そうである。

今回は戸野目スポーツ少年団の中のバレーボールチームで提案しているため、バレーボールの代表ということである。

【千代委員】

次に、見積書の中に2種類のボールが記載されており、ボールバッグは2つとなっている。これは、どちらのメーカーでもよいため全てのボールを入れるということな

のか、それともミカサのボールのみを入れるバッグなのか、どちらか。

【津-4 提案者】

今回、購入を希望しているボールバッグはミカサのものであるが、モルテンでもボールバッグはある。

毎年、公式球が試合によって変わるため、2種類のボールが必要になる。

ボールバッグに球は6個入るが、試合に行くときは球を12個持って行く。そのため、ボールバックを2つ希望している。

以前に申請した際、モルテンのボールバッグを購入したのだが、それが経年劣化等で傷んでいるため、今回はミカサのバッグとした。

【藤本会長】

大会によって、使用するボールが違うということか。

【津-4 提案者】

そうである。

【相馬委員】

昨年度申請のあった野球チームは、人数が少ないため、稲田と富岡のチームと合併したが、バレーボールは人数がいるため、戸野目スポーツ少年団として活動しているということか。

【津-4 提案者】

そうである。

【相馬委員】

少子化で子どもの数がどんどん減っているが、学年的にはどういう内訳となっているのか。

【津-4 提案者】

6年生が9人、5年生が2人、4年生が2人、2年生が1人である。来年の新人戦までに、もう1人入ってこなければ出場することができない。現在、子どもたちや保護者に呼び掛けており、何とか繋げてもらいたいと思っている。

【藤本会長】

他に質問等あるか。

(発言なし)

以上で「津-4」のヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【山崎主事】

最初に戻り、「津-1 上雲寺小学校児童・地域住民ふれあい事業」のヒアリングを始める。

【津-1 提案者】

・事業説明

【藤本会長】

「津-1」について質疑を求める。

【古川 仁委員】

カレンダーということは、単純に来年も必要という意味合いになるのか。

【津-1 提案者】

子どもたちの活動を皆に見ていただく目的で、カレンダーを発行している。やはり毎年子どもたちも替わり、活動内容も変わってくるため、そういったことを写真に収めて地域の皆に見てほしいと思っている。

【古川 仁委員】

カレンダーが主というよりも、子どもたちがどのようなことをしているのかといったことに重きを置いているということか。

【津-1 提案者】

通常のカレンダーではなく、子どもたちの写真を入れて配布している。子どもたちがやりたいことを選んで活動しているため、活動内容も毎年変わる。

【千代委員】

作成は100部となっているが、学校区で足りるのか。

【津-1 提案者】

子どもの人数は70人弱であり、町内会が15町内、その他、学区内に2部くらいずつの配布を考えており、100部とした。

【藤本会長】

他に質問等あるか。

(発言なし)

以上で「津-1」のヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【山崎主事】

「津-5 津有地区地域づくり事業」のヒアリングを始める。

【津-5 提案者】

- ・事業説明

【藤本会長】

「津-5」について質疑を求める。

(発言なし)

自分から1つ質問する。

AEDの説明の中で、津有地区防災士会が、提案団体の構成団体であると説明があったが、その他にどのような団体が構成団体として入っているのか。

【津-5 提案者】

構成団体としては、食生活改善推進員、運動推進委員会、老人会、小学校のPTA関係、町内会長が入っている。

【藤本会長】

他に質問等あるか。

(発言なし)

以上で「津-5」のヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【山崎主事】

「津-6 ゲートボールによる高齢者の健康増進と公園美化まちづくり事業」のヒアリングを始める。

【津-6 提案者】

- ・事業説明

【藤本会長】

「津-6」について質疑を求める。

【千代委員】

昨年度も、ゲートボール場整備のために支援をしているが、コート整備とその周辺のみである。西側に向かった広い面は、草刈り等を何もしないということか。

【津-6 提案者】

当団体が管理を行っている範囲は、コートの中・コートに面した側面のみである。

昨年度も補助金が採択され、コスモスを植栽した。おかげさまで、昨年度植えたコスモスの種が落ちて、昨年度以上にコスモスが咲き誇るような感じがしている。

全面ではなく、コート周り5メートル程が当団体の整備している範囲になる。

【千代委員】

その他は、平成町として草刈り等を行うのか。それとも何もしないのか。

団体の話とは違うと思うが、あそこは平成町全体の公園だと思う。

【津-6 提案者】

自分は詳しいことは分からないが、あの場所は市の都市整備課で管理している公園であり、年に2~3回、機械で草刈りや除草をしていると聞いている。

【千代委員】

あのような公園は、最初は市で造り、後々、各町内で活用してもらうために、管理を町内に任せてしまうが、平成町では年2回くらい草刈りを行うということか。

【津-6 提案者】

自分は町内会長の経験もないので分からない。ただ、平成町で管理を委託されている場所として、少し南側に平成公園という公園がある。そこは平成町が先頭となって草刈りを行っているようである。だが戸野目公園については、聞いたことがない。

【千代委員】

次に、戸野目公園に子どもたちが遊べる遊具があり、子どもたちも遊びに来ると思うが、大人が使用していないときはゲートボール場に入って遊んでも構わないのか。

【津-6 提案者】

芝の芽が出て、きちんと整備されるまではロープを張る等の規制をしているが、それ以外の季節は、ロープを外して中で遊べるようにしており、今年度もそのようにするつもりである。

【藤本会長】

時間となったため、「津-6」のヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【山崎主事】

「津-7 前島密翁献碑祭 100周年事業」のヒアリングを始める。

【津-7 提案者】

・事業説明

【藤本会長】

「津-7」について質疑を求める。

(発言なし)

自分より1点、質問である。

提案書の4ページに記載されている、記念式典のテント・横幕・椅子・テーブル等は購入費ではなくレンタル料ということか。

【津-7 提案者】

すべてレンタルで対応する予定である。

【藤本会長】

次に、雄志太鼓等の道具の運搬に係る経費の記載がないが、どうするのか。

【津-7 提案者】

雄志太鼓の代表に話は通してあり、当日は運搬していただく予定となっている。

【藤本会長】

他に質問等あるか。

(発言なし)

以上で「津-7」のヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

【山崎主事】

「津-8 津有南部地域住民の安全や子供の健全育成を図る事業」のヒアリングを始める。

【津-8 提案者】

・事業説明

【藤本会長】

「津-8」について質疑を求める。

(発言なし)

以上で「津-8」のヒアリングを終了する。

— 提案者退席 —

以上で全事業のヒアリングが終了した。

委員は期日までに採点票を提出願う。

以上で次第2 議題「(1) 協議事項」の「地域活動支援事業について (ヒアリング)」

を終了する。

— 休憩 (5 分間) —

会議を再開する。

次第 2 議題「(2) 報告事項」の「地域自治推進プロジェクト及び令和 4 年度の地域協議会の取組等について」に入る。事務局より説明を求める。

【小林センター長】

・資料 1～6 について、スライドを用いて説明

【藤本会長】

今ほどの説明について、質問を求める。

(発言なし)

今の説明を聞いただけですべてを理解できるかということ、厳しい面があると思う。

自分の認識として、先ほどの自主的審議のスケジュールについては、概ね、話をしてきた流れと似ている部分があると思う。

一つ大きな課題として、元気事業とリンクしていくとなると、担当課がどこかは分からないが、予算化するためにはかなりのエビデンスというか、いろいろなものを用意しなければ厳しいと思っている。

また、小林センター長が最後に話していた方向性の問題だが、凶らずも当協議会がテーマに掲げた内容が「津有区の特長を生かした地域活性化」との言葉を使っており、まさに進めてきたことがそのままであるため、別のことを新たに考えるよりも、その方向を堅持したほうがよいと考えている。それも、地域協議会だけでやってきたのではなく、やはり町内会長と話し合った中から出てきたものであるということが強みになると思っている。そういう意味では、地域協議会だけではなく、地域の声も一応入っている。ただ、これから他の団体、本日のヒアリングに来ていた団体等の意見も伺う必要があるかと思っている。そのように考えていくと、堅苦しいことを考えず、これまで行ってきたことを粛々と進めることで、かなりクリアできるとの認識を持っている。

ぜひ、本日の資料を熟読いただき、認識を深めてもらえればと思う。

以上で次第 2 議題「(2) 報告事項」の「地域自治推進プロジェクト及び令和 4 年度の地域協議会の取組等について」を終了する。

次に次第 2 議題「(3) その他」に入る。本日の議題に関して何かあるか。

【小林センター長】

会議開始前に中島委員より1つ発議があった。これから説明し、諮りたいと思う。

細かい部分は中島委員に補足願うが、テレビの歴史番組の中に、番組で取り上げて欲しい人物を募集している枠があるとのことである。そこに前島密を応募してみてもどうかとの提案があった。

【中島委員】

自分は歴史が好きであり、地上デジタル放送・BS放送をいろいろと見ている。自分の知っている限りでは、5つの歴史番組がある。地上デジタル NHK総合で「歴史探偵選」、NHK Eテレで「先人達の底力 知恵泉」、BSプレミアム「英雄達の選択」、BSプレミアム「偉人・素顔の履歴書」、BS-TBS「日本歴史鑑定」という5つの番組を自分は見ている。

その中のBS-TBSで放送している「日本歴史鑑定」で「取り上げて欲しい人物を募集しています」とのテロップが最後に毎回出るのだが、これに前島密を推薦してはどうか。

BSの「偉人素顔の履歴書」は、前島密に関する著書がある加来 耕三氏が番組の解説者を行っているので、良いのだが募集はしていない。

またBSプレミアムの「英雄達の選択」は少し意味合いが違っている。

個人的な意見ではあるが、BS-TBSの「日本歴史鑑定」という番組に応募してみてもどうか。

【藤本会長】

津有区地域協議会の取り組みを、別の視点で、強めていただくような提案をいただいたと思う。

今、調べてみたところ、投稿フォームに「このような理由から、この人を取り上げてほしい」といった文章を打ち込むだけのようなのである。それを採用するか否かは番組サイドが決めることだが、採択しやすいようなキャッチフレーズ等が必要かと思う。

取り組みとしてチャレンジしてみてもどうかとの提案である。案を練ってみることとしてよいか。

【中島委員】

本当はNHKに取り上げてほしいのだが、募集をしていない。

【藤本会長】

地域協議会として出すのかも含め、検討しなければならないと思う。ただ、自分たちが考えている取り組みの 1 つの間口として、考えることは非常に意味があることだと思う。今すぐにとはいかないかもしれないが、検討していくこととしてよいか。

(よしの声)

中島委員の提案のように、他の委員も何かヒントになるようなこと等、情報提供していただけると、自分たちの知見も懐も広がって、前向きに物事を考えやすくなると思う。

他に何かあるか。

【千代委員】

先日の上越タイムスか何かに掲載されていたが、中川市長との話し合いを持たれている協議会があると思う。

それは市が選んでいるのか。それとも、各地域協議会が市に申し込んでいるのか。

【小林センター長】

事務局では情報を持ち合わせていない。市長部局で市長との対話集会を予定していて、その中に個人や地域協議会が入っているようである。

【千代委員】

各協議会が単独で申し込んでいる、それがたまたまスケジュールに入ったということなのか。

【小林センター長】

確認したいと思う。

【藤本会長】

地域の声を聞くという文脈の中に、地域協議会が入ったということだと思う。

そのため地域協議会が申し込んだのではなく、たまたま参加者の中に地域協議会が入って意見交換をしたということか。

【小林センター長】

地域協議会としてではなく、地域協議会委員個人としての参加のように思う。

地域協議会は市長の諮問機関であり、市長に意見できる権利を持っているので、市長懇談会の中で、意見交換は必要はないと思う。あれは一般住民で地域協議会委員を兼ねている場合、といったこともあるように思う。

【藤本会長】

他に何かあるか。

(発言なし)

以上で次第2 議題「(3) その他」を終了する。

最後に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

- ・ 次回の協議会日時：6月13日（月） 午後6時30分から
- ・ 会場：津有地区公民館 大会議室
- ・ 内容：地域活動支援事業の採択決定

その他、何かあるか。

(発言なし)

- ・ 会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。